

介護等体験を終了した学生の感想

Cさん

私は今回の体験で初めての経験をたくさんできたと思う。特別支援学校に入ったことも、そこに通っている子供たちと関わることも初めてだったし、乳児と触れ合うのも初めてだった。

まず特別支援学校では、今まで自分が思い描いていた知的障害の子と、実際にそこにいる子たちの印象が全く違うことに気付いた。自分の少なからず持っていた偏見が、一気に砕かれたような感覚だった。今までの私の考えでは障害を持っている子は、誰かの力がなければ生きていけないのではないかと思っていたが、全くその心配はないようだった。子供たちはみんな素直だった。自分の感情をそのまま表現できる力を持っていて、健常者にはない、心の純粋さがとても素敵だなと思った。一生懸命物事に取り組む姿勢に感動しっぱなしだったと思う。それまでは特別支援の免許は取得しなかつたが、これからもうちょっと勉強し、免許取得はもちろん、社会に出たときに役立てられるように、関わり方などを考えていきたいと思った。

社会福祉施設では、特別支援学校とは違ったかたちで子供たちと触れ合い楽しく体験が終わった。乳児と触れ合うことがもう初めてで、最初のほうはどのように接すればいいのか、どこまで子供たちは私たちの言葉を理解できているのか、など手探りの状態で触れ合い始めた。

けれど、子供たちと保育士さんとのかかわりあいを見ているうちに、ある程度子供たちが言葉を理解し、自分の意思で遊んだり、泣いたり、食事したりしているのだな、とわかってきた。3歳ぐらいの子たちはあちらから声をかけてきて、抱っこや遊びを誘ってきてくれて、その相手をするというのが定番だったが、0歳児の子たちは言葉らしい言葉を発することがなく、自発的に用具で遊んだり、どちらかというとなんか興味のあることをやる、という感じだった。最初はその遊んでいる様子をただ眺めているだけだったが、保育士さんが「上手上手」「ほら、がんばって！」などと自分から声をかけているのを見て、そうやってかかわってあげればいいのかと学ぶことができた。それから、自分から声をかけて、一緒に遊ぶこともできた。他にも食事介助や入浴の手伝い、首がすわっていない子の抱っこの仕方など、必要なことを保育士さんからも子供たちからも学ぶことができたと思う。小さい子供とどのようにかかわればいいのかわからず不安だったが、たくさんのかかわり方を学ぶことができた。

介護等体験を通して、私の視野が広がったと思う。自分の知らない世界があったんだ、という思いである。どうすればいいのか分からず、不安でただ見ているだけの時もあったが、先生と子供たち、保育士さんと子供たちの関わりをみて、自分のそのような関係を作りたいなと思った。たくさんのかかわり方をたくさんの人から教わった介護体験だった。今後の生活、社会に出たときに生かしていきたいと思う。